

患者さんへ

「湘南鎌倉総合病院における前立腺癌に対しての陽子線治療」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

なお、研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1 研究の対象	2022年1月～2023年12月に当院で前立腺癌に対して陽子線治療を受けられた方
2 研究目的・方法	<p>2022年1月より当院にて前立腺癌に対して陽子線治療が開始され、現在20-21回での治療を行っておりますが、2023年4月より前立腺と直腸の間へのスケーサーの挿入が可能となりました。スケーサーの挿入を施行することで、物理的に前立腺と直腸間の距離をとり、直腸への照射線量を減少させ有害事象の発生を低下させることが可能と考えられております。</p> <p>今後、患者さんの通院負担を減らすため、スケーサー挿入施行により、さらに1回線量をあげ照射回数を減らした治療を提供できる可能性を検討していきたいと考えており、当院において治療を受けた患者さんの初期治療成績、有害事象の発生成績について調査いたします。</p> <p>研究の期間:施設院長許可(2024年4月予定)後～2025年3月31日</p>
3 情報の利用拒否	<p>情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。</p>
4 研究に用いる情報の種類	年齢、病歴、実施された放射線治療の治療計画、画像所見、手術所見、病理所見、血液検査データ、放射線治療以外の治療の実施歴、治療後経過、有害事象等の発生状況等
5 お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。</p> <p>研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 白石沙真 湘南鎌倉総合病院 放射線腫瘍科 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 電話番号:0467-46-1717</p>

2024年2月4日作成(第1.0版)